

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会（第 24 回） 議事録

1 日 時

令和 6 年 9 月 25 日（水）13 時 32 分～14 時 22 分

2 場 所

Web 会議による開催

3 出席者

(1) 委員（50 音順(敬称略)）

伊丹 誠（部会長代理）、江崎 浩、上條 由紀子、三瓶 政一（部会長）

(2) 専門委員（50 音順(敬称略)）

和泉 恭子、岩田 秀行、小川 栄治、上村 治、古賀正章、佐古 和恵、
丹 康雄、永沼 美保、西岡 誠治、西島 英記

(3) 総務省

近藤 玲子（審議官）

(4) 事務局

斉藤 永（通信規格課長）、澤田 和幸（通信規格課課長補佐）、八代 将成（デジタル経済推進室長）、渡邊 修宏（地域放送推進室 企画官）、笹川 裕加（料金サービス課課長補佐）、五十嵐 大和（電気通信技術システム課長）、平松 寛代（番号企画室長）、道方 孝志（サイバーセキュリティ統括官付企画官） 他

4 議事

(1) 「国際電気通信連合電気通信標準化部門の活動への対処について」のうち「国際電気通信連合世界電気通信標準化総会への対処」について

【昭和 6 0 年 4 月 2 3 日付け（平成 5 年 4 月 2 6 日一部修正）電気通信技術審議会諮問第 2 号】

(2) その他

開 会

○三瓶部会長 それでは、皆様、定刻となりましたので、第24回情報通信審議会情報通信技術分科会ITU部会を始めさせていただきます。

現時点で、委員4名中3名が出席し、定足数を満たしております。

本日の会議はウェブ会議での開催となりますので、皆様、御発言の際は、マイク及びカメラをオンにし、お名前を申しτεいただいた後、御発言をお願いいたします。

また、本日の会議の傍聴につきましては、国際会合の対処方針を含む機微な情報となりますため、会議を非公開とさせていただき、国際会合終了後に資料を公開させていただくことといたします。

本日の審議事項ですが、来月10月15日から24日まで、国際電気通信連合（ITU）世界電気通信標準化総会（WTSA-24）が開催されますので、その我が国の対処について御審議いただきます。

なお、WTSAは、ITU-T決議の新規、改訂、削除の承認、ITU-Tの研究委員会から提出されます勧告案の承認、2025年から始まります次期研究会期の研究課題、研究体制等につきまして審議を行うITU-Tの最高意志決定会議であります。

まず、審議の前に、9月期の定期改選におきまして、当部会の専門委員が変更となりましたので、事務局より御紹介をお願いします。

○齊藤通信規格課長 三瓶部会長、ありがとうございます。本日の事務局を務めさせていただきます国際戦略局通信規格課の齊藤と申します。よろしくお願いいたします。

先ほど御紹介ございましたとおり、9月期に定期改選がございましたので、御紹介させていただきます。お二人変更となっております。

まず、お一人目、梶原専門委員の御後任として富士通、和泉恭子専門委員、藤本専門委員の御後任として早稲田大学、佐古和恵専門委員、以上の2名の方が御着任されております。

新たに御着任された専門委員におかれましては、可能でしたらカメラをオンにさせていただき、一言御挨拶いただけますでしょうか。まずは、和泉専門委員よりお願いいたします。

○和泉専門委員 富士通の和泉でございます。知財グローバルヘッドオフィス長をしております、配下に標準化を担当しているグループがあり、その流れで今回の参加とな

りました。どうぞよろしくお願いいたします。

○齊藤通信規格課長 よろしく願いいたします。続いて、佐古専門委員、願いいたします。

○佐古専門委員 早稲田大学の佐古と申します。私は暗号プロトコル理論を研究しております。長い間NECにおりまして、2020年から早稲田に赴任いたしました。標準化に関してはずっとISOの委員を務めておりましたが、ITU-Tはあまりよく分からないので、また教えていただければうれしいと思っております。

以上です。

○齊藤通信規格課長 ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、構成員につきましては、資料24-1にて名簿を配付しております。万が一訂正等ございましたら事務局まで別途御連絡いただければ幸いです。

以上となります。

○三瓶部会長 どうもありがとうございました。

では次に、事務局から本日の資料の御確認をお願いいたします。

○齊藤通信規格課長 事務局より配付資料の確認をさせていただきます。

本会議は、御紹介がございましたとおり、ウェブ会議による進行のため、ペーパーレス会議で行わせていただいております。資料につきましては、事前に事務局より皆様に送付させていただいております。

具体的には、議事次第のほか、資料24-1から24-3の3つの資料、2つの参考資料と、議事次第のほか計5つのファイルをお送りしていると存じます。もしお手元に資料が届いていないという方がいらっしゃいましたら、事務局までチャット等でお知らせいただければと思いますが、大丈夫でしょうか。

ありがとうございます。事務局からは以上となります。

○三瓶部会長 どうもありがとうございました。

議 事

- (1)「国際電気通信連合電気通信標準化部門の活動への対処について」のうち「国際電気通信連合世界電気通信標準化総会への対処」について【昭和60年4月23日付(平成5年4月26日一部修正)電気通信技術審議会諮問第2号】

○三瓶部会長 では、本日の議事に入らせていただきます。

冒頭でも御説明いただきました、来月、10月15日から24日にかけて開催される世界電気通信標準化総会（WTS A－24）に向けて、その対処について御審議をいただきたいと思います。

なお、諮問第2号「国際電気通信連合電気通信標準化部会の活動への対処について」は、世界電気通信標準化総会に提出される勧告案に対する評価と、電気通信標準化部門の研究課題の見直しとなっております。

本日は、「国際電気通信連合電気通信標準化部会の活動への対処について」のうち、「国際電気通信連合世界電気通信標準化総会への対処」について御審議いただきます。また、情報通信審議会決定第1号及び情報通信技術分科会決定第43号に基づき、ITU－Tへの対処に関する事項につきましては、当部会の決議をもって情報通信技術分科会の議決、答申とすることとなっております。したがって、本日御審議いただきますWTS A－24への対処は、本部会での決議をもちまして一部答申とさせていただきます。

それでは、答申案であります資料24－2につきまして取りまとめいただきました、電気通信システム委員会主査、丹専門委員に御説明をお願いいたします。では、丹委員、よろしくお願いいたします。

○丹専門委員 ありがとうございます。それでは、電気通信システム委員会を預かっております丹と申します。今、画面に出ております資料24－2に従いまして御説明したいと思います。

この資料につきましては、先週19日に第20回の電気通信システム委員会を開催いたしましたし、その場におきまして、この各SGを担当しております関係者の皆様の御協力を得まして、確認、それから一部修正などをして了承いただいたものという形になります。本日は、それぞれの各章における内容に関しまして、総務省の担当課室のほうから御説明いただく形で進めてまいりたいと思います。

まず、早速ですが、第1章ということで、こちら、事務局をやっています通信規格課様のほうからお願いできますでしょうか。

○澤田通信規格課課長補佐 ありがとうございます。総務省通信規格課の澤田と申します。第1章の総論につきまして、私から御説明させていただきます。

今回のWTS A－24では、ITU－T全体の作業の管理、作業方法、手続等を規定

するAシリーズ勧告について、電気通信標準化アドバイザリーグループより1件、本総会において承認が求められており、静観が差し支えない判断としております。

また、次会期におけるSGの組織体制の見直しが本総会にて審議される予定であり、我が国からSG9とSG16の統合を提案しており、SG再編の提案国として、WTSA-24にて、統合が承認されるよう、関係各国と協力し対処を行うことが適当であります。

また、各国寄書については、決議に対しては総務省担当課室の所管において対応し、勧告に関しては該当のSGを所管する担当課室の判断において対応することとし、審議の過程において、予期し得ない問題が提起された場合には、意見を付して請訓し、その他事項についても各国の情報を収集し、最善の決定が行われるよう適宜対応する。

以上が総論となります。ありがとうございました。

○丹専門委員 ありがとうございます。それでは、引き続きで第2章ということで、SG2、こちらは番号企画室のほうからお願いできればと思います。

○平松番号企画室長 番号企画室でございます。

SG2の研究対象は、サービス提供の運用側面及び電気通信管理でございます。メインは電気通信番号の管理でございまして、多くの国の政府の機関が参加しているところでございます。我が国から選出されている議長、副議長はおりません。

2番目、WTSA-24に提出される勧告案については、SG2からはございません。

3番目の研究課題の見直しでございしますが、SG2における次の会期の研究課題案及びその対応案一覧は表の2に示しているとおりでございします。今の会期、6件の研究課題がございましたが、こちらについては全て継続として提案されてございます。これらの議題案については、OTTですとか、新たなサービスや技術の発展を踏まえたものでございまして、我が国の制度に特段支障があるものではないので、支持しても差し支えないと思っております。

具体的には、(1)固定／携帯電気通信サービスのナンバリング、ネーミングというところで、国際共有番号リソースの効率的な割当ての活用ですとか、(2)のルーティングと相互運用計画では、ポータビリティですとかキャリアスイッチング、また、サービス定義を含む電気通信のサービス及び運用側面では、OTTなどの定義や運用などが課題に上がっているところでございます。

私からは以上でございます。

○丹専門委員 ありがとうございます。

それでは、次が、第3章のSG5につきましては、内容的にちょっと分かれているところもありますもので、電気通信技術システム課とデジタル経済推進室のほうからお願いいたします。

○八代デジタル経済推進室長 デジタル経済推進室でございます。SG5は、電磁界、環境、気候変動対応、持続可能なデジタル化及び循環型社会を研究対象とし、ワーキングパーティーが3つに分けられてございます。電磁界のテーマを中心とするワーキングパーティー1、循環型社会や環境効率などをテーマとするワーキングパーティー2、環境、気候変動の適応、緩和などに係るワーキングパーティー3となっております。我が国から、副議長としてNTTの高谷和宏様が選出されてございます。WTSA-24に提出される勧告案について、SG5から提出される勧告案はございません。

3の研究課題の見直しにつきましては、今会期では11件の研究課題がございましたが、研究課題1件において他の課題への統合を実施し、6件の継続、4件改訂となる合計10件の研究課題が提案されてございます。次会期の課題案につきましては、SG5の活動基盤維持の観点から、我が国としてはいずれも支持することが適当と考えてございます。

ここから、次会期の主な研究課題案の概要を紹介させていただきたいと思います。まずは、ワーキングパーティー1の課題について、電気通信技術システム課からお願いいたします。

○五十嵐電気通信技術システム課長 電気通信技術システム課の五十嵐でございます。

WP1につきまして御説明申し上げます。資料は8ページになります。

ワーキングパーティー1の主な研究課題案としまして、ここでは(1)と(2)のみ御説明申し上げます。

1つ目の(1)が、研究課題Aになるものでございまして、これは今の研究会期における課題1をベースに改訂するものです。テーマは雷撃、雷ですとか、電力システムからの電磁サージに対する通信施設や通信のシステムとしての観点からの防護要件、電磁的攻撃の脅威に対するセキュリティなどについて研究するものとなっております。

2つ目、(2)ですが、研究課題Bとなるものです。こちらも今の研究会期では課題2とされているものの改訂になります。通信／ICT装置の過電圧、過電流からの防護へ対応する避雷器ですとか避雷素子への要件、それから宇宙放射線によるソフトエラー、

メモリのビット反転など、そういったものへの信頼性などについて研究するものとなっております。これらは既存の今のもの、クエスチョンの親和性を高めるために組み替えるといったものになります。

ワーキングパーティー１は以上です。八代室長、お願いします。

○八代デジタル経済推進室長　続きまして、ワーキングパーティー２、３における主な研究課題を２つ御紹介させていただきます。

１つ目は、（５）に記載されております研究課題Ｅ、継続のものでございまして、ＩＣＴの環境効率についてです。具体的には、ＩＣＴがもたらすマイナスの環境負荷と、逆にＩＣＴによって低減されるプラスの環境負荷をそれぞれ定量化し、測定、評価する仕組みづくり等を研究しているものでございます。本研究課題に関連し、今会期では工場やデータセンターの消費エネルギー効率の向上に寄与するための新規勧告策定や既存勧告改訂の動きがございました。

２つ目といたしましては、（７）に記載しております研究課題Ｇ、ＩＣＴが気候変動、生物多様性、環境に及ぼす影響の評価でございます。具体的には、ＩＣＴ技術、ＡＩ、５Ｇほかを含むデジタル技術に対する持続可能性を維持するための影響の評価手法、及びガイダンス、気候変動と生物多様性課題の重要性の考慮等を検討するものでございます。ＳＤＧｓ目標やパリ協定と、また、政府間科学－政策プラットフォームで掲げられた目標などを達成するため、気候変動や生物多様性に係る国際的な枠組みを踏まえた評価方法について、今後も議論を深めてまいるというものでございます。

最後に、ＳＧ５は２０２０年６月より議論をしておりますけれども、５回の会合を通じて新規３８件、改訂３１件、削除３件の勧告案が承認されているという状況を御報告させていただきます。

以上ＳＧ５でございます。

○丹専門委員　ありがとうございます。

それでは、引き続きで、次は第４章のＳＧ９です。ケーブルですけれども、こちらは地域放送推進室のほうからお願いいたします。

○渡邊地域放送推進室技術企画官　地域放送推進室の渡邊でございます。ＳＧ９関連の対処につきまして、御説明させていただきます。

ＳＧ９は、映像・音声放送及び統合型広帯域ケーブル網を研究対象としているものでございます。我が国からは、議長としてＫＤＤＩの宮地様、ワーキングパーティー１の

副議長及びクエスチョン４のラポータとして日本ケーブルラボの柴田様、また、クエスチョン１のラポータとしてＫＤＤＩの河村様が選出されております。

なお、今回のＷＴＳＡ－２４に関しまして、ＳＧ９から提出される勧告案はございません。

研究課題の見直しですけれども、ＳＧ９は次期研究会期におきまして、ＳＧ１６と統合する方向で、ＴＳＡＧで合意されたところでございます。また、ＷＴＳＡ－２４に提案されている、次期研究会期におけるＳＧ９に係る課題につきましては、基本的に今研究会期の研究課題１１件でございますけれども、こちらを統合後も継続するということが前提となっておりますのでございます。それらの研究課題につきましては、様々なＩＣＴサービスの実現に資する統合型広帯域ケーブル網の研究に積極的に貢献する立場から、我が国として、いずれも支持するということが適当であるというふうに考えておるものでございます。

なお、提案されている主な研究課題案としましては、テレビ、音声番組の素材伝送・一次分配・二次分配、また、視聴制御及び不正コピーやデジタルケーブル網での不正再配信の保護、統合広帯域ケーブル網上でのＡＩを活用した機能拡張、また、統合ブロードバンドケーブルネットワークを介した高度なコンテンツ配信サービスのためのソフトウェアフレームワークとアーキテクチャといった内容の検討を行うといったものがございます。

ＳＧ９につきましては、以上でございます。

○丹専門委員 ありがとうございます。

それでは、次、第５章ですが、ＳＧ１１です。こちらは、番号企画室のほうからお願いいたします。

○平松番号企画室長 番号企画室の平松です。ＳＧ１１ですが、研究対象は、信号要求、プロトコル、試験仕様及び模造品対策でございます。我が国からは、ワーキングパーティー３の議長としてＮＩＣＴの釧吉様を選出させていただいてございます。

２番目でございますが、ＷＴＳＡ－２４にＳＧ１１から提出される勧告案はございません。

また、３番目の研究課題の見直しでございますが、ＳＧ１１における次の会期の研究課題案及びその対応案一覧は表５に示させていただいておりでございます。今会期に１４件の研究課題がございましたが、基本的に内容は変わらず継続してござい

す。1件を継続、マージしますので、数としては13件の研究課題というような内容になってございます。この課題案につきましても、クラウドコンピューティングですとか、新たなサービスや技術の発展を踏まえたものでございまして、我が国の制度に特段支障があるものではないので、支持しても差し支えがないと考えてございます。

SG11については、以上でございます。

○丹専門委員 ありがとうございます。

それでは次、第6章ですけれども、SG12ということで、こちらも引き続き、番号企画室のほうからお願いできますでしょうか。

○平松番号企画室長 SG12でございます。研究対象は、性能、サービス品質及びユーザー体感品質でございます。我が国からは副議長、ワーキングパーティー3の副議長、また、Qの13ラポータとしてNTTの山岸和久様を選出させていただいてございます。

2番目でございますが、SG12からWTS A-24に提出される勧告案はございません。

3番目の研究課題の見直しでございます。SG12中における次の会期の研究課題案及びその対応案一覧は表の6に示しているとおりでございまして、この会期でも15件の研究課題ございましたが、次の会期でも継続して15件の研究課題が提案されてございます。次の会期の課題案ですが、28ページ目の一覧表を御覧いただければ雰囲気は分かると思いますが、例えば、Cの車内音声と音響評価の客観評価法や、Dのハンドセット及びヘッドセット端末の特性測定方法、Fの音声・音響など、最近の生活様式等の変化を踏まえた新たなサービスや技術の発展に関するものが課題として上がってございまして、特に音響関係が多いと思っているところでございます。

我が国の制度に特段支障があるものではないので、支持しても差し支えないと考えてございます。

以上です。

○丹専門委員 ありがとうございます。

それでは、今度、第7章、SG13、将来網です。こちらは電気通信技術システム課のほうからお願いいたします。

○五十嵐電気通信技術システム課長 システム課の五十嵐でございます。SG13の研究対象でございますが、将来網及び新興ネットワーク技術となっております。資料は今画面に出ているページでございますが、過去には、このワークスタディグループでN

GNの標準化などを担ったほか、現在はオール光ネットワークの議論もこちらで扱っております。議長は、日本のNICTの谷川和法様、それから、クエスチョン22のラポータとして、同じくNICTのVed Kafe様が進出されております。

続きまして、2ポツ、WTS A-24に提出される勧告案についてですが、こちら、今回はございません。

3ポツ、研究課題の見直しです。こちら、既存の課題であるクエスチョン16を2つの課題に分割して、今は13なんですけど、それを14に変えるという提案がなされております。この分割は議論の加速のためというふうに伺っております。これら次の会期の議題案につきましては、SG13の活動基盤維持という観点から、日本としていずれも支持するということが適当と考えております。

主な研究課題案の概要を3つほど御紹介させていただければと思います。

1つ目が、研究課題B、(1)です。IMTネットワークと人工知能、応用ネットワークにおける要求条件とアーキテクチャについて研究するといったことです。

2つ目が、(2)の研究課題Eと呼んでいるものですが、こちらもIMTネットワークにおける固定網、移動通信網、衛星通信網の非無線部分の統合について、その要求条件でありますとかフレームワークについて研究するといったものになってございます。

3つ目が、(3)の研究課題Nでございますが、こちらは、量子鍵配送ネットワークを含む量子情報技術のネットワーク適用について研究するというものでございます。

この参考事項のところでございますけれども、今会期は2022年7月から議論を開始してまして、計7回の会合で新規83件、改訂9件の勧告案が承認されております。

以上がSG13関連の対処となります。よろしくお願いします。

○丹専門委員 ありがとうございます。

それでは、引き続きで第8章、今度はSG15になります。こちら、また電気通信技術システム課のほうからお願いいたします。

○五十嵐電気通信技術システム課長 続けて、SG15でございます。こちらの研究対象としましては、伝送、アクセス及びホームネットワークのためのネットワーク技術と基盤技術となってございまして、日本からはクエスチョン5のラポータとしてNTTの中島和秀様、そしてクエスチョン7のラポータとして、同じくNTTの鬼頭千尋様が選出されております。

続いて、2 ポツ、WTSAに提出される勧告案でございますが、こちらもございます。

3 ポツ、研究課題の見直しでございます。こちら、今会期は13の課題がございました。次のWTSAでは、既存の研究課題のうち1件を部分的に統合することで、合計12件の研究課題が提案されることになります。これらについては、我が国としていずれも支持するということが適当というふうに考えております。

こちらと同じように少し御紹介したいと思います。

1つ目が、(1)の研究課題Aです。パッシブ光ネットワーク、いわゆるPONのシステムを中心に、光アクセスシステム全般について研究するものとなっております。

2つ目が、研究課題Bでして、宅内ネットワーク技術とその応用について研究するものというものです。こちらもちょうと、先ほど申し上げた課題の組替えが行われまして、クエスチョン2とクエスチョン3に対して、クエスチョン1の研究内容を統合したものとなっております。

最後に、SG15の会合ですけれども、こちら2022年9月から議論を開始して、4回の会合を通じまして新規19件、改訂48件、削除6件の勧告案が承認されたという状況でございます。

以上がSG15関連となります。よろしくお願いします。

○丹専門委員 ありがとうございます。それでは、第9章のSG16、こちら、通信規格課様のほうからお願いします。

○澤田通信規格課課長補佐 通信規格課の澤田です。私のほうからSG16関連の対処についての御説明をさせていただきます。

SG16の研究対象は、マルチメディア及び関連デジタル技術になります。我が国からは、SG16の副議長として沖電気の山本秀樹氏が選出されており、その他では、資料にも記載のあるとおり、ワーキングパーティー3の共同議長や各種研究課題のラポータとして、NICT、NTT、三菱電機、慶應大学など、産業界、学术界問わず、多くの日本人が活動されております。

続きまして、2番ですが、今回WTSA-24にSG16から提出される勧告案はございません。

続きまして、3番、次会期における研究課題の見直しについてですが、添付の表9記載の合計14件ありまして、全て今会期からの継続案件として、次回期でも研究されて

いく研究課題となっております。

主な研究課題としては3点、1番、映像・音声・符号化、2番、超高臨場感ライブ体感システムとサービス、3番、デジタルヘルス関連等が挙げられておりまして、今会期でSG16会合としては6回開催されまして、新規104件、改訂21件、合計125件の勧告案が承認されました。主な勧告例については、資料の参考事項を御参照いただければと思います。

先ほどの総論でも触れましたが、SG16は、今回のWTSA-24でSG9との統合が予定されておりまして、統合部門、現状の研究課題14件は継続して、次会期でも審議されます。我が国として、いずれの研究課題に対しても支持することが適当であると考えております。統合後、適宜SG9との研究課題とも効率化が図られていくことが予想されております。

以上、SG16の対処についての御説明となります。ありがとうございました。

○丹専門委員 ありがとうございます。今のお話にもありましたとおり、9と16の統合が行われるというのが今回のWTSAで非常に大きなところですが、この統合後の新SGに関しましては、また後ほど触れさせていただければと思います。

それでは次、第10章ということでセキュリティ、こちらはサイバーセキュリティ統括官室のほうからお願いします。

○道方サイバーセキュリティ統括官付企画官 サイバーセキュリティ統括官室の道方でございます。SG17関連の対処について御説明させていただきます。

まず、1番の研究対象でございますけれども、SG17はサイバーセキュリティ、セキュリティを研究対象にしております。我が国からは、副議長としましてKDDI、三宅氏を選出しております。その他、多くの方々を選出しているという状況でございます。次期研究期に関しましては、KDDIの磯原様を副議長に候補としてノミネートしているという状況でございます。

2番、WTSA-24に提出される勧告案でございますけど、こちらのものはございません。

続きまして、3番、研究課題の見直しでございますけれども、今会期、12の研究課題がございましたが、WTSAにおきましては、0件の新規、12件の継続、0件の改訂という形で、計12件の研究課題が提案されております。次期会期の議題案につきましては、我が国として、いずれも支持することが適当ではないかというふうに考えてい

るところでございます。

主な研究議題案の概要について御説明をさせていただきます。

(1) 番、セキュリティ標準化戦略の部分でございますけれども、こちらはもともと、これまで課題15におきまして、インキュベーションの機能というのが議論されておりましたが、今度こちらをセキュリティ標準化戦略と一体化させるということで研究課題Aとして持っていくという形になってございます。

続きまして、(2) 番、電気通信サービス、I o Tの部分でございますけれども、こちら、新たにデジタルツインとメタバースの部分のワークアイテムを取り扱うことになったという形でございます。

(3) 番、量子関連のセキュリティ、研究課題Lの部分でございますけれども、先ほど申し上げましたインキュベーション対応を課題のAのほうに移すということで、こちらの分がなくなるという形の変更が行われるというものでございます。

次のページに行きまして、参考事項のところでございますけれども、SG17、今回の会期中、7回開催されておりますが、新規は51件、改訂は35件、合計36件の勧告が承認されているというところでございます。

説明は以上でございます。

○丹専門委員 ありがとうございます。それでは、第11章ということで、今度はSG20です。こちらに関しましては、通信規格課のほうからお願いいたします。

○澤田通信規格課課長補佐 SG20関連の対処についての御説明になります。SG20の研究対象は、I o Tとスマートシティ、スマートコミュニティになります。我が国からは、SG20の副議長としてNECの山田徹氏が選出されております。

続きまして、2番ですが、今回、WTS A-24にSG20から提出される勧告はございません。

続きまして、3番、次会期における研究課題の見直しについては、添付の表11記載の合計9件ありまして、継続案件が7件、新規の案件が2件となっております。

こちらの新規2件の研究課題につきましては、1番、I o Tとスマートサステナブルシティ&コミュニティによって可能になる、デジタルヘルス、アクセシビリティ、インクルージョンに関連する人間中心のデジタルサービス、2番、分散型I o Tに関する研究課題となっており、こちらの新規の2件に伴い、SG20の研究対象、タイトルが、現状、I o Tとスマートシティ、スマートコミュニティとなっているんですけれども、

次会期から「I o T、デジタルツインとスマートサステナブルシティ&コミュニティ」への名称変更提案を行うことが合意されております。我が国として、継続、新規、いずれの研究課題に対しても支持することが適当であります。

今会期でSG20会合としては合計4回開催されまして、新規では11件の勧告案が郵便投票されて承認されました。主な勧告案については、資料の参考事項を御参照いただければと思います。

以上、SG20の対処についての御説明となります。ありがとうございました。

○丹専門委員 ありがとうございます。

それでは、個別のSGというところは大体一通りなのですけれど、今度は、TSAGに関しまして12章に記載しておりますので、こちらに関しましても通信規格課のほうからお願いいたします。

○澤田通信規格課課長補佐 ありがとうございます。続いてTSAG関連の対処についての御説明になります。

TSAGは、ほかのSGと異なりまして、ITU-T標準化作業の市場ニーズへの反映、作業の効率化及び戦略計画を審議し、その結果を電気通信標準化局、TSB局長へアドバイスをする諮問委員会となります。我が国からは、TSAGの副議長としてNECの永沼美保さんが選出されております。

2番のTSAGからWTSA-24に提出される決議、勧告に関しては、表の12-1、12-2に記載のあるとおり、決議の改訂案で2件、作業方法に関わるA勧告案件が1件の合計3件となっております。いずれも研究課題ではなく、国内政策に影響するものではないため、日本の対応としては、1件支持、2件静観となります。

3番のWTSA-24で議論が想定される主な案件としましては、こちらの総論でも申し上げましたが、SG9とSG16の再編に関わる議論への対処となります。こちらは、我が国日本から24年1月のTSAG会合にて提案し、方針の承認、その後の検討を経て、7月のTSAG会合にて承認された内容となっております。WTSA-24では、TSAGからの提案どおりにSG9とSG16の統合が行われるよう、関係各国とも協力し対処を図ることが重要となっております。

以上、TSAGの対処についての説明となります。ありがとうございました。

○丹専門委員 ありがとうございます。

先ほど来、何回か出てきました、今回のWTSAはSG9と16の統合ということが

行われます。この準備状況というところに関しまして、第13章にSGCということで記載しておりますので、こちらはまた通信規格課のほうからお願いいたします。

○澤田通信規格課課長補佐 SGC関連の対処についての御説明となります。こちらのSGCがSG9とSG16が統合して設立される予定の研究グループとなります。統合後の次会期研究課題については、添付の表13に記載がありますとおり、合計23件ありまして、全てがSG9、SG16からの継続案件となっております。我が国として、いずれの研究課題に対しても支持することが適当であります。

その中でも、表の最後に記載のある研究課題2点、コーディネーションと計画と、デジタル包摂のためのマルチメディアシステム、サービス及びアプリケーションアクセシビリティ、こちらの2つの研究課題に関しては、SG9とSG16で研究課題が重複している部分があるため、今回のSG統合後、1つの課題となることが検討されております。その他研究課題については、先ほどのSG9、SG16の説明と重複するため、この場では割愛いたします。

以上、簡単ではございますが、SGCの対処についての御説明となります。ありがとうございました。

○丹専門委員 ありがとうございます。

SG9をめぐるのは長年、その位置づけというところの議論があったかと思うんですけども、今回のこの統合ということで一旦決着ということになります。今、御説明ありましたとおり、基本的には2つのSGが持っていた、その内容というものがそのまま引き継がれるという、何か軟着陸のような、そんな感じになったかなというところでございます。

それでは、そのSG、それからTSAGまで含めて一通りなんですけども、本来、このシステム委員会としての所掌はここまでなのですが、今回WTS Aということで、本来の所掌ではないんですけれども、SG3に関しましても、参考資料1ということで作成いただきましたので、同様に御説明させていただければと思います。では、こちらのほう、料金サービス課のほうからお願いいたします。

○笹川料金サービス課課長補佐 料金サービス課でございます。SG3ですけれども、こちらは、料金、会計原則、それから国際電気通信・ICTの経済及び政策課題を研究対象としております。我が国からは、SGの副議長兼ワーキングパーティー1の議長としてKDDIの本堂様、研究課題IのラポータとしてはNTTドコモの大槻様を選出し

ております。

2 番の勧告案のところですが、S G 3 からは提出される勧告案は 2 つございます。1 つが、データサービスの料金規制に関する原則、2 つ目が、ビッグデータの文脈における、電気通信／I C T サービスに係るデータ保護の政策枠組み及び原則でございます。

3 番の研究課題でございますけれども、今会期は 1 0 件の研究課題がございまして、9 件が継続、1 件が廃止で、合計 9 件の研究課題が提案されているところでございます。次会期の研究課題案としては、現在、日本が支持している今期の既存研究課題からの大幅な変更がないということで、いずれも支持することが適当としております。

そして、勧告案を作成する方向で検討中の研究課題として 2 つ挙げておりますので、御紹介をさせていただきます。

1 つが、小売衛星事業者が提供する高速インターネット接続の経済的・政策的側面ということで、こちらは、非静止衛星軌道システムを利用する小売衛星事業者、これは利用者向けにサービスを提供する衛星事業者ということですが、このサービス提供における経済的・会計的・規制的な側面に関するガイダンスを作成するためにワークアイテムが新設されたというものです。このガイダンスというのは、次の会期に勧告案として作成する方向で検討されているということです。

2 つ目として、大容量通信ネットワークの拡張と発展に向けた、O T T と電気通信事業者間のネットワーク費用負担に関するガイドラインです。こちらは、電気通信事業者と O T T サービスプロバイダーの間の潜在的な費用負担の在り方を示すガイドラインを作成するために、ワークアイテムが新設されたというものです。そして、これも次の会期に勧告案として作成する方向で検討されているものでございます。

S G 3 については、以上でございます。

○丹専門委員 ありがとうございます。これで、資料 2 4 - 2 に記載している内容というのを一通り御説明申し上げました。今回 W T S A、前회가コロナで延びまして 2 0 2 2 ということで、そこから見ると期間はあまりない、それでまた 2 0 2 4 なんですけど、この W T S A - 2 0 のときにはあまり中身を変えてないということもありまして、W T S A - 1 6 から非常に長い間続いたものを大きく改訂するというのはそんな感じもありまして、各 S G の担当の皆様に関しましては、いろいろと御苦労といえますか、今回、お願いするところも多いかと思えます。

ということで、私のほうからの報告は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

○三瓶部会長 どうもありがとうございました。

では、以上WTSA-24への対処の説明ということでいただきましたけども、これについて質問、御意見ございますでしょうか。

すみません。私からですけど、SG9とSG16が統合されるということで、今、御説明ではSGCということで御説明あったんですけど、このSGCというのはネーミングも含めて今後SGCという、それでSG9と16は消えるという理解でよろしいですか。

○丹専門委員 はい。基本的にはそうですが、通信規格課さんのほうからお願いできますか。

○三瓶部会長 通信規格課さん、いかがですか。

○寺山通信規格課主査 お世話になります。総務省通信規格課、寺山でございます。SGCのネーミングにつきまして、現在このCという文字につきましては、コンソリデーションの略でSGCというふうにつけられているものでございます。今後、何らかの番号が採番されて、ほかのSGと同様のネーミングになるということが予定をされておりますが、こちらにつきましても、今後、WTSAでの検討課題となってまいります。こちらで御回答になっておりますでしょうか。

○三瓶部会長 分かりました。それで、SG9と16は消えると。次回から消えるということになるんですか。

○寺山通信規格課主査 はい、その御認識です。9と16が表の中からいなくなる代わりに、新しくSGCというものができるという御認識で間違いはないかと思います。

○三瓶部会長 了解いたしました。

では、ほか、いかがでしょうか。特にございませんか。

では、特にないようですので、この内容をもって一部答申とすることよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○三瓶部会長 ありがとうございました。それでは、資料24-2の本案をもちまして、一部答申とすることといたします。

この答申に対しまして、総務省国際戦略局、近藤審議官から一言御発言がございます

ので、よろしくお願いします。

○近藤審議官 総務省審議官を務めております近藤でございます。夏に着任いたしました。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。本日は、国際電気通信連合世界電気通信標準化総会への対処につきまして、皆様大変お忙しいところ、御審議いただくとともに、一部答申をいただきまして、誠にありがとうございました。

来月15日から24日までインド共和国ニューデリーにおいて開催されるITU電気通信標準化総会WTSA-24におきましては、この一部答申に沿った形で我が国の意見を反映できるように、また、我が国がIT電気通信標準化部門の標準化活動に十分な寄与ができるように、しっかりと努めてまいりたいと考えております。

今後とも、情報通信行政に対しまして、御指導、御鞭撻をよろしくお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。

○三瓶部会長 近藤様、どうもありがとうございました。

○近藤審議官 ありがとうございました。

(2) その他

○三瓶部会長 それでは、続きまして、その他参考として、現在の研究体制につきまして、参考資料2が用意されてございます。これにつきまして、事務局から御説明いたします。事務局よろしいでしょうか。

○齊藤通信規格課長 参考資料2を御覧ください。こちらは現在の研究体制となっております。先ほどのSGの対処の御説明の中でも触れられておりましたけれども、我が国から選出している方について赤字で記載をしてございます。その中でも、下線を引いてございますけれども、こちらの方々におかれましては、2期目となっております、今会期で御退任ということとなっております。

そのような状況でございますので、来期に向けまして我が国から推薦している方々について、口頭ではございますけれども、御紹介させていただければというふうに存じます。

まず、SG13、現在議長をされているNICTの谷川和法議長につきましては、継続して推薦をしているところでございます。SG3の副議長をされています本堂恵利子副議長につきましても、現在1期目ですので、引き続き継続として推薦をしているとこ

ろでございます。SG5、高谷和宏副議長については、今期2期目で退任されるということで、副議長候補として原美永子様を推薦しているところでございます。SG11につきましては、新たに副議長候補として釧路薫様、SG12の山岸和久副議長につきましては、現在1期目ですので継続して推薦を行っているところでございます。SG15につきましては、副議長候補として、新たにNTTより中島和秀様を推薦しております。SG17の三宅副議長につきましては、今会期をもって任期満了で退任されますので、後任として、同じくKDDIから磯原隆将様を推薦しております。SG20につきましては、引き続き継続することで山田副議長を推薦しているところでございます。先ほど話のございましたSG9とSG16が統合された後の、SGCに関しましては、副議長として河村圭様を推薦しているところでございます。また、TSAGでございますけれども、現在副議長をされております永沼様、現在1期目でございますので、継続して日本から推薦しているところでございます。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○三瓶部会長 どうもありがとうございました。

では、ただいまの御説明につきまして、御質問、御意見ございますでしょうか。よろしいですか。

どうもありがとうございました。では、その他、御質問など何かございますでしょうか。

ないようでしたら、以上をもちまして、本日の議事は全て終了となります。

では、今後の予定などにつきまして、事務局より御説明をお願いします。

○齊藤通信規格課長 本日、御審議いただきましたWTSA-24への対処に従い、来月からのWTSAに臨んでまいります。その結果につきましては、情報通信技術分科会におきまして、三瓶部会長から御報告いただく予定となっております。時期につきましては、12月を予定しております。

また、次回のITU部会につきましては、WTSA-24の結果報告として、年内の開催を予定しております。詳しい日程につきましては、部会長と調整の上、別途、事務局より御案内申し上げますので、その際には御出席のほどよろしくお願いいたします。

事務局からは以上となります。

閉 会

○三瓶部会長　それでは、これにて第２４回情報通信審議会情報通信技術分科会ＩＴＵ部会を閉会いたします。本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。